

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2390500151
事業所名	グループホームフレンズハウス和楽家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に加入し、回覧板を通じて地域情報を収集、近隣住民とは散歩時に挨拶を交わし地域の一員としての暮らしを継続している。町内会長とは運営推進会議を中心に連携を図り、地域活動への協力体制を築いている。毎年恒例の地区小学校で開催される敬老会は当日の都合により参加できなかったが、地域イベントは機会があれば参加して交流を深める様に努めている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 推進会議は年6回の開催し、町内会長、民生委員、包括職員の参加を得て、運営状況の周知、意見交換等で交流を深め連携体制を深める事ができた。コロナ感染対策等での地域情報の収集、勉強会や研修の報告を通じて、ホームの取り組みへの理解を得られている。会議議事録を職員に周知し、運営向上に繋がっている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 区窓口や生活保護課とは、何かあれば電話等で相談して意見をもらい運営に役立っている。認知症カフェ事業への交流会への参加を通じて、同業他事業所との意見交換をして協働関係を深めている。市町村主催の研修への参加があり、オンライン研修等積極的に参加している。包括に研修講師を依頼し社内研修を実現させ、職員育成に繋がっている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 毎月お便りを作成し、日常の様子や個人写真、コメントを添えて伝え、家族の安心に繋がっている。家族には、些細な事でも電話して相談したり、面会時に直接話をする事で協力体制を深めている。利用者や家族の意見や要望は申し送りや連絡ノートを活用し、職員全体で検討して支援に反映する様に努めている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	○
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価				○	○	○	○	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎	○	◎							